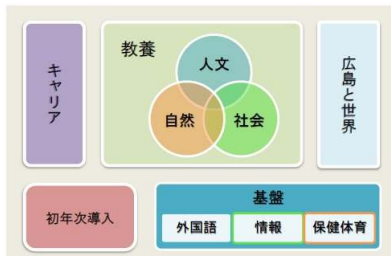


県立広島大学 総合教育センター（全学共通教育部門）

五條 小枝子（全学共通教育「広島と世界」担当主任） 馬本 勉（副センター長・教育改革担当）

〈背景・目的〉



- ・平成27年度、**新たな全学共通教育プログラム**がスタート
- ・大学で学ぶ基礎・基盤科目／専門と並び立つ豊かな教養を身につける科目  
【L（エル）字型】に配置 ⇒
- ・「**広島と世界**」という科目群を新設（各2単位、選択科目）

県大生として学ぶ広島と世界	ボランティア活動
地域の理解	地域情報発信論
留学生と学ぶ広島	異文化としての日本
海外研修Ⅰ・Ⅱ	



**「広島と世界」カリキュラムポリシー**

- 1 学修目標** 地域（広島）への理解と、世界とのつながりへの理解とを踏まえ、その**理解や知識を応用・活用し、行動する力を**養います。
- 2 学修成果** (ア) 今を生きる人間としての幅広い知識を身につけ、時代の変化に柔軟に対応できる力が身につきます。(イ) 異文化への理解をもとに、物ごとの本質を見抜いて行動する力が身につきます。
- 3 学修環境** (ア) 「遠隔講義システム」を活用し、3キャンパスの学生が共に学ぶ機会を提供します。(イ) **フィールドワーク**により、地域の課題を肌で感じ取る機会を提供します。(ウ) **グループワーク**、**ディスカッション**や**合同発表会**等を通じて、コミュニケーション能力を高めるとともに、協働して物ごとを解決することの大切さを体感する機会を提供します。(エ) 留学生と日本人学生との交流を主眼とする科目を設け、文化的背景の異なる者どうしが理解し合い、共に生きることの意義を学ぶ機会を提供します。

〈概要・成果・課題〉



- ◆ 行動型学修を通じた、学外で現地体験（フィールドワーク、実地調査）
- ◆ 参加型学修を通じた、経験の共有と内省（ディスカッション、グループワーク）
- ◆ 成果発表を通じた、学修内容の整理（合同発表会、プレゼンテーション）



「地域の理解」 神楽団との交流

「広島と世界」における授業設計

県立広島大学型アクティブ・ラーニング (Campus Linkage Active Learning: CLAL) : 平成26年度 大学教育再生加速プログラム(AP) テーマI (アクティブ・ラーニング) に選定

取組の概要 (科目名・特徴)	成果と課題
<p><b>地域の理解</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィールドワークを核とし、講義と連動させたプログラム</li> <li>・グループを組んで行うフィールドワークと成果発表会</li> <li>・感想カード記入時間（毎回10分）の設定による振り返り</li> </ul>	<p><b>成果</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 体験学修や合同発表会を積極的に実施することにより、キャンパスを越えた学修を促進することができる。これにより、専門の異なる学生間のコミュニケーションが生まれ、協働性の涵養につながる。</li> <li>2) 新たな発見や広い視野を獲得することにより、学生が「自ら発見する喜び」を感じ、深い学びへいざなうことができる。これは主体的な学修姿勢につながる。</li> </ol>
<p><b>地域情報発信論</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国新聞社スタッフと大学教員の協働による授業運営</li> <li>・サテライトキャンパス集中講義、キャンパス混成グループ編成</li> <li>・正解のない地域の問題をテーマに情報を集め、発信する力を修得</li> </ul>	<p><b>課題</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「広島と世界」でのAL実践を他の科目群担当者と共有し、全学共通教育プログラムへ体系的に組み込む</li> <li>2) ALに対する学生への意識付けを高める</li> <li>3) きめこまかな支援のための学修環境を整備する</li> </ol>
<p><b>留学生と学ぶ広島</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各国からの留学生と交流・フィールドワーク・議論</li> <li>・興味に応じたフィールドワーク先選択</li> <li>・事前・事後レポートによる知識の定着</li> </ul>	
<p><b>異文化としての日本</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生と対面してのディスカッション</li> <li>・非母語でのプレゼンテーション</li> <li>・異文化に触れ、日本を捉え直す</li> </ul>	

「地域情報発信論」授業展開 <参加型学修+行動型学修>

年度	平成28年度	
テーマ	オバマ大統領の広島訪問を評価する	
事前課題	「今日の一押し記事」の概要と自他の意見（2日分）	
第一日	1	イントロダクション、グループ分け
	2	事前課題の確認、グループ討議
	3	グループ討議の内容を発表し、全体で共有
第二日	4	記者の仕事学ぶ
	5	オバマ大統領・広島訪問の経緯
	6	オバマ大統領広島訪問をめぐる評価/取材計画の立て方
第三日	7	取材実習(1) 写真撮影指導/取材内容の確認
	8	取材実習(2) オバマ大統領の歩いた道をたどる
	9	記事風レポートのまとめ方
第四日	10	記事風レポート発表: グループ討議
	11	グループディベート: グループ見解をまとめ、発表
	12	ポスター発表のポイント、実習
第五日	13	ポスター仕上げ
	14	ポスターセッション
	15	ポスターセッション・合評、まとめ
事後課題	振り返りレポート「オバマ大統領の広島訪問を改めて評価する」	



授業評価アンケート

